

おれんじ通信

45

知って支える認知症

認知症と新型コロナウイルス 感染症予防

新型コロナ
ウイルスは治
療法が確立し
ていないため、
感染予防が大
事です。



しかし、認知症の方に感染予防
を理解してもらうのが難しいとき
があります。その場合は次のこと
を参考にしてください。

【感染予防の必要性がわからない
場合】

▷「口や鼻から体に悪いものが

入ってくる」のような簡単な言い
方をする ▷「(過去に肺炎など
の病気にかかったことがある場合
は)前に寝込んで大変だったよね、
そうならないようにしようね」な
ど、本人の経験から伝える

【マスクをつけることが難しい
場合】

▷外出前の身なりを整えるとき
にマスクもするなど、生活動作の
中に入れる ▷視力低下により白
いマスクを認識しにくいことがあ
るため、色がはっきりしているマ
スクを選ぶなどの工夫をする

また、マスクをはずすとすぐに
なくしてしまうことがあります。

外出するときは予備のマスクを持
ち歩きましょう。

熱中症にも注意を

マスクをしながらの会話や動作
は、息苦しくなることがあります。
また、高湿度や多量といった環境で
のマスクの着用は、熱中症のリス
クが高くなります。人と十分な距
離をとって、部屋を換気しながら
一時的にマスクをはずすなどの工
夫をし、熱中症と感染症を予防し
ましょう。

(参考：広島大学共生社会医学
講座「認知症をお持ちの方とご家
族の方へ」パンフレットより)

◇ ◇

おれんじ通信への意見をお寄せ
ください。

■地域包括ケア推進課 06
(4309)3013、FAX06(4300)3814